

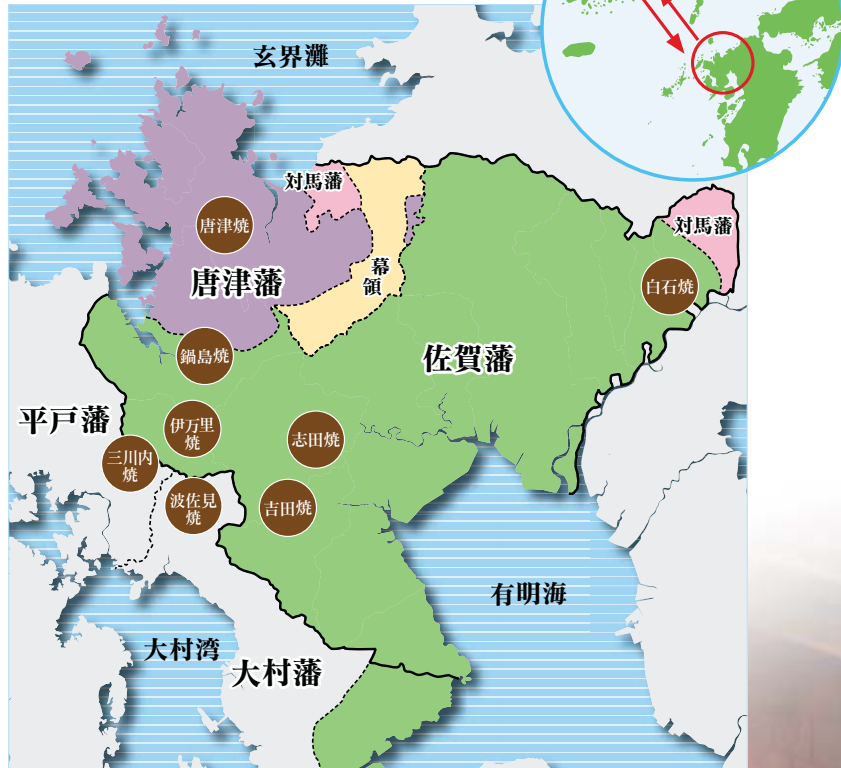
佐賀県では古くから唐津焼、有田焼（伊万里焼）をはじめとしたやきものづくりが盛んです。県内各地のやきものにはどんな特徴があるかを探ってみましょう。

□海を渡って伝えられたやきものの文化

日本の代表的な陶器・唐津焼は、安土桃山時代頃に唐津市北波多で始まったといわれています。

その後、豊臣秀吉による朝鮮出兵（文禄・慶長の役、1592～98年）の際、多くの朝鮮陶工が連れて来られ、朝鮮の技術の導入が進み、肥前の国（佐賀県・長崎県）でやきものづくりが広まったのです。

大陸から各領内に広がったやきものの産地分布図



藩領図（藤野保著『佐賀藩』を参考に作成）

□佐賀県の現在のやきものの産地



佐賀県の国重要無形文化財保持者 (工芸技術)

無形文化財とは、歴史的に、また芸術的に価値の高い工芸技術などのことをいいます。それを受け継ぐ人たちの中で、国から認定された人は「国重要無形文化財保持者」(通称「人間国宝」)と呼ばれています。



●白磁
いのうえまんにじ
井上萬二さん
(有田町)

磁器の成形、釉薬の研究を重ね、伝統的な白磁の制作技法を極めました。

(井上萬二窯 提供)



●色絵磁器
いまいげいまいま えもん
十四代 今泉今右衛門さん (有田町)

代々受け継がれてきた色絵磁器の技術を今に伝え、「墨はじき」という伝統の白抜き技法を駆使した作品も制作しています。

(今右衛門窯 提供)

【唐津焼】



(佐賀県立九州陶磁文化館 蔵)

てつえ はぎもんつぼ えがらつ
鉄絵萩文壺 (絵唐津)
(1590 ~ 1610年代)

鉄の成分を含んだ絵の具による力強い絵柄が特徴です。



(唐津市教育委員会 提供)

唐津焼の始まりの場所の一つ、唐津市の飯洞甕下窯跡(国指定史跡)。

かつゆうおおがめ
褐釉大甕 (1629年)

江戸時代前期以降～昭和前期まで、大甕などの容器も多く作られていました。食べ物の貯蔵などに使用されていましたが、現在はほぼ廃れてしまいました。

(佐賀県立九州陶磁文化館 蔵)



発祥年代: 安土桃山時代
発祥地: 唐津市北波多岸岳周辺(その後、伊万里や武雄、長崎北部にも広がった)
創始者: 朝鮮陶工たち
原料: 陶土(有色粘土)が主(原料は土)

特徴
・九州の陶磁器で最も古い歴史がある
・土ならではの温かみがある
・桃山～江戸時代初期の代表的な茶陶の一つ(茶道具としての器)
・水を吸いやすく、たたくとにごった音がする。

からつもの

唐津焼と呼ばれるのは当初唐津の港から出荷されていたからです。京都や大阪をはじめとした西日本から東日本に広く知れ渡り、やきものものを総称して「からつもの」と呼ぶ地域があります。



(佐賀県立九州陶磁文化館 蔵)

わらばいゆうつぼ まらがらつ
藁灰釉壺 (斑唐津)
(1580 ~ 1590年代)

見どころスポット

佐賀県立九州陶磁文化館

住所: 西松浦郡有田町戸杓乙3100-1
電話: 0955-43-3681
開館時間: 9時～17時
(入館は16時30分まで)
休館: 毎週月曜日
(祝日の場合は開館)
12月29日～31日
料金: 無料
(特別企画展は大人有料)



【有田焼 (伊万里焼)】



(佐賀県観光連盟 提供)

朝鮮陶工の李參平(金ヶ江三兵衛)が最初に磁器の原料となる陶石を発見したと言われる泉山磁石場(国指定史跡)。

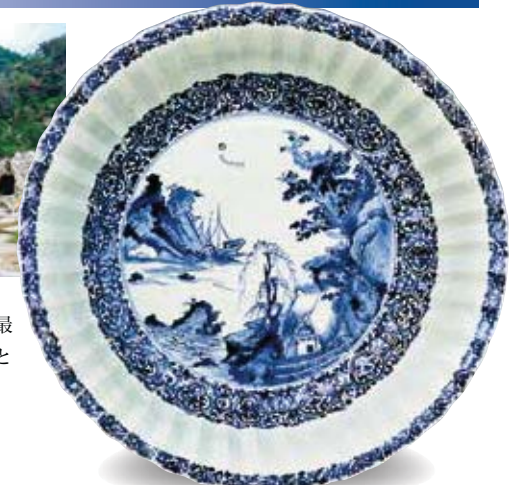


(佐賀県立九州陶磁文化館 蔵)

いろえ かちようもんざら
色絵花鳥文皿

かきえ もん ようしき
(柿右衛門様式)
(1670 ~ 1690年代)

純白の素地を生かして、優美な文様を施しています。



(佐賀県立九州陶磁文化館 蔵)

そめつけさんすいもんりんか おおざら
染付山水文輪花大皿
(1640 ~ 1650年代)

皿の内外面に小高く盛り上がった部分があり、中央には山水文様が描かれています。(今泉吉郎氏 寄贈 重要文化財)

発祥年代: 江戸時代初め(1610年代)

発祥地: 有田

創始者: 朝鮮陶工の李參平など

原料: 陶石をくだいた粉が主(原料は石)

特徴

- ・かたくて丈夫な白い器
- ・美しい赤や黄や青の模様が施されているものが多い。
- ・水を通さず、たたくと澄んだ金属音がする

調べてみよう!

「有田焼」は江戸時代から明治時代になるまで「伊万里焼」と呼ばれていたのはなぜ?



(佐賀県立九州陶磁文化館 蔵)

いろえ せきれいもんざら
色絵鶺鴒文皿

なべしまようしき
(鍋島様式)
(1700 ~ 1720年代)

鍋島焼

徳川将軍への献上品として作られた鍋島焼。有田の岩谷川内で始まり、1660年代頃に伊万里の大川内山へ移転。廃藩置県まで作られ、採算を度外視した日本最高級の磁器と言われています。

※佐賀藩は技術の漏えいを防ぐため、関所を設けて厳重に管理しました。